

吉野敏明先生のお話

凄い博識な先生なので、是非 SNS でフォローして欲しい。

【よしりん講和 =収入を増やしたければ、本を読むのだ!!】

この表は 2018 年に総務省が全国 9 千世帯を対象にした家計調査の結果です。
書籍購入費と年間収入に正の相関があることが分かります。

また、日本経済新聞社が 2009 年に実施した書籍購入費の調査では、年収～400 万円の平均が 1,914 円である一方、年収 800 万円では平均は 2,910 円でした。

これらのことから、本を買えば買うほど収入は上がります。

では、本を買うではなく、実際に読むではどうでしょう？有名なビジネス誌の『PRESIDENT』が 2012 年に 1002 人のビジネスマンを対象にしたネットアンケートによると、「月に 4 冊以上本を読む」のは年収 500 万円が 17.0%であることに對し、年収 1,500 万円では 34.6%で約 2 倍の開きがありました。

ある調査では、20 代、30 代で年収 500 万円のビジネスマンは 1 ヶ月平均 0.26 冊の本を読むのに対し、30 代で年収 3000 万円の人は平均 9.88 冊の本を読むのだと言います。

その差は約 38 倍もあります。

では、本と言っても、マンガはどうでしょう？

読書に漫画もはいるのでしょうか!?

総合人材サービスのパーソルキャリアが調べたデータでは、年収 1000 万円～1100 万円未満のビジネスパーソン、平均的年収である 400 万円～500 万円未満のビジネスパーソンを対象に読書事情を比較調査したのがあります。

年収 1000 万円のグループでは本を読む人が 63.4%、400～500 万円のグループでは 55.4%であり、よく読む本のジャンルでは、1000 万円ではビジネス書をよく読むと答えた割合が 26.6%に對し、400～500 万円では 8.5%での 3 倍以上の差に達しました。

そして、マンガをよく読むと答えた人は、1000万円では2.3%しかおらず、400～500万円の20.0%の8分の1以下にとどまっていたのです。

ちなみに、よしりんは年に400冊ほど本を読みます。

週刊誌までいれたら1,000冊以上よみます。

執筆もしますから、多い時では掲載される書籍の原稿は年に50本以上ありますし、最低でも年に2冊くらいは著作を出版します（今年はまだ3冊出版して、あと2冊出版予定）。

一方、よしりんのマンガの読書はほぼゼロ。

小学4年生のまではドラえもんやコロコロコミックを買っていましたが、高校生の時に両さんの単行本を購入したのを最後に（1985年くらい）、一冊もマンガやその単行本は買ったことがありません。

ジャンプもマガジンも買ったことすらありません。

マンガを読んだことがあるとすれば、私が書籍を執筆・出版するための取材の一環として、どうしてもマンガを読まなければならないときしか買いませんし読みません。

なので、北斗の拳も読んだことありませんし、ワンピースも読んだことありません。

ここまで読めば、こどもには読書をさせざるを得ませんね。

でも、親が本をよんでいなければ、子供も本を読むはずがありません。

というわけで、やはり大人も子供も本を読むべきなのです。

では、なぜ漫画はダメで読書がいいのでしょうか？

それは、読書が、文字のなかから本に出てくる人物や景色を洞察して自分でその姿を作り上げる訓練をすることができるからに他なりません。

マンガでは、そのキャラクターが出来上がった状態でそこに存在します。

具体的であればあるほど、人間は脳が墮落します。

つまり、超高性能な CG を VR で見たりすればするほど、年収が下がるということなのです!!

究極の読書は、俳句です。

たった五七五の中に季節や情景や感情が入り、それを洞察することによって色のみならず、音まで聞こえてくるからです。

だから、読書よりもっと良い方法は、作文することです。

情景を思いうかべなければ小説は書けません。

もし、あなたが収入を増やしたいのなら、たくさん読書をして、沢山小説を書けばよいのです。

別に出版する必要などありません。

いまなら、だれでも自由に SNS 上に小説を上げることができます。

そんなことで、年収があがるのです!!